



人と人をつないで 10年！紀州よさこい祭り

おどるんや

艶やかな衣装に身を包んだ踊り子たちが紀州の夏を彩る風物詩「おどるんや～紀州よさこい祭り」。昨年は75チーム、約3000人の踊り子が参加、和歌山市内がたくさんの人と熱気であふれる恒例のイベントです。今年は、10周年にふさわしいお楽しみ企画も満載で、ますますパワーアップしそう！そのあたりの熱いお話を、運営団体「NPO 紀州お祭りプロジェクト」の杉谷さん、上森さんに聞きました。



昨年の「おどるんや」から けやき大通り競演場の様子



各チームの「旗師」が集まった「旗衆(きしゅう)大乱舞」



踊り子だけではなく観客も参加！大盛り上がりの総踊り

和歌山を元気に
ぶらくり丁にある同プロジェクトの事務所。なんだかかきわつていっているな...と思つてのぞくと、「私も参加できるんや？」と女性グループの姿が。「おどるんや」のことを聞いて、参加したい！と大阪から駆けつけたのだとか。

よさこい祭りの始まりは、昭和29年、発祥の地は高知県。平成4年に札幌の「YOSA KOIソラン祭り」が始まり、一気に全国に広がりました。そんなよさこい祭りを和歌山に...と立ち上がったのが、同プロジェクト。「よさこい」に参加した友人の話を聞いて、すごいなと思つた。まぢ全体に花が咲いたよな...。これがあれば和歌山ももっと元気に

なれる！と考へたんです」というのは、事務局の上森さん。まずメンバーを募り、チームを作るころから、一歩一歩準備を始めました。

奇跡の1回目
記念すべき初「おどるんや」は、奇跡の1回目と言われました。それだけ苦労が多かつたんですね。まず、第一関門は、けやき大通りの交通規制。警察署に何回足を運んだかわからないくらい。地域のいろいろな人の応援もあり、やっと、許可が下りました。

第二関門は、資金繰り。あれもやりたい、これもやりたいと企画が先走り、当初の予算をオーバー。それでも思いは引き返せない...と、実行委員の個人負担まで検討されました

が、広告収入や参加費など、たくさんの人たちの協力で見事クリア。「おどるんや」は、市民がつくるお祭り。今でも資金面では行政に頼っています」と、実行委員長の杉谷さん。和歌山の夏を語るに欠かせない一大イベントを、市民の力で育てあげてきたという自負を感じました。

つながりがすべて
奇跡の1回目のあと、「5年後の和歌山は必ず変わる」を合言葉に、2年、3年...ついに10年。本当にたいへんなのは、今からかもしれないとお二人は言います。「10年たつて、これからどんなことをするんやろう、どうなっていくんやろう、という周りの期待もある」心地よいプレッシャーが後押しします。

踊り手は2歳から80歳代まで、まさに老若男女。みんな「おどるんや」に参加していることで毎日頑張れる、まさにお守りのようなものだとおっしゃるそう。買い物で出会ったときにも「今年もやるな」と挨拶をかわす人のつながりを作っていくもの、それが祭りなんだと、杉谷さんは言います。「人のつながりがいかに大切か、祭りが教えてくれるんです」。

10周年の特別企画
何もかもつながり。これに勝るものはないと、杉谷さん。今年の特別企画、合同連がそれを象徴します。10周年、何かできることは？と実行委員会が問

い、踊り手たちは、これまでの交流を活かすかたちで合同連を提案。思いをひとつにチームを超えて仲間が集まり、踊ります。10周年の、そのときのためのチーム、楽曲、踊りが見られます。また、マリナーシティ会場では「花火企画」など、今年ならではの見逃せないメニューが満載です。

そして、これからの「おどるんや」は？お二人に聞いてみました。「地域も広げて大きくしたい。そして、和歌山はもっともっと元気になる！」(上森さん)

「特に子どもたちに伝えていきたい。これからの日本をしょって立つ世代が、ずっと続けていくお祭りであつた。」



事務所の前で事務局スタッフとともに左端が杉谷さん、右端が上森さん

わかやま地元力 AWARD 2013
エントリー募集中！
～5月31日締切～

わかやま地元力応援基金(通称：地元力財団)の設立記念助成として、「わかやま地元力 AWARD (アワード) 2013」へのエントリー募集が始まっています。

和歌山のために活動しているすべての市民活動団体に応募いただけます。特に素晴らしい取り組みには1団体あたり25万円が助成されます。この助成金は市民からの寄付が原資となっており、地元の取り組みを地元で応援することができる、新しい寄付と助成のしくみといえます。

エントリーの締切は5月31日。詳しくは特設サイトをご覧ください。
URL <http://jimotoryoku.jp/award/>

おどるんや ～第10回紀州よさこい祭り～
7月28日(日)・8月3日(土)・4日(日)
問合せ：NPO 紀州お祭りプロジェクト
TEL 073-426-4424
URL <http://www.kishu-yosakoi.jp/>

みんなでつくる情報板
わかやまイベントボード

- JICA ボランティア説明会
シニア海外ボランティアと青年海外協力隊の募集説明会です
日時 5月18日(土)
10:30～シニア海外ボランティア
14:30～青年海外協力隊
場所 和歌山ビッグ愛 6階会議室
参加費 無料
問い合わせ JICA 和歌山デスク (073-435-5240)
備考 5月18日～30日は和歌山県国際交流センター(和歌山ビッグ愛8階)で「JICA ボランティア紹介パネル展」を開催。
- 友ヶ島灯台一般公開
友ヶ島で1日楽しみませんか。
日時 5月25日(土)
10:00～15:00
場所 友ヶ島島内
内容 パネル展示、海上保安制服試着、語り部ウォークなど
参加費 無料(加太～友ヶ島間の往復運賃大人1600円、子ども800円別途必要)
問い合わせ 和歌山海上保安部交通課 (073-402-5852)
備考 語り部ウォークの申込みは加太観光協会まで (073-459-0003)。先着40名、弁当・水筒持参。
- 講演会「高齢者の見え方」
「新老人の会」と和歌山支部第5回総会の記念講演会として開催します。
日時 5月24日(金)
12:30～13:20
場所 ダイワロイネットホテル和歌山4階
講師 吉村利規さん(吉村眼科医院院長)
参加費 無料(事前申込み必要)
問い合わせ・申込み 「新老人の会」と和歌山支部 (073-472-5994)
備考 終了後昼食懇親会(会費2500円)あり。希望者は申込み。
- 原発にふるさとを奪われて
福島県飯館村で起きていることを伝えます。
日時 5月25日(土)
19:00～21:00
場所 和歌山市中央コミュニティセンター3階多目的ホール
講師 長谷川健一さん(酪農家・飯館村前田地区区長)
参加費 500円(高校生以下無料)
問い合わせ にんにこ被災者支援ネットワーク・和歌山 (<http://ninnico.jp/>)